



**2025年2月期  
決算説明資料**

**株式会社 三陽商会**  
2025年4月14日



**1. 2025年2月期 業績結果**

**2. 2025年2月期 振り返り**



# 連結PL：2025年2月期 実績<sup>1</sup>

売上高は605.3億円、営業利益は27.2億円、当期純利益は40.1億円  
営業利益以下の計画を全て達成

(単位:億円)	前年実績	本年計画 <sup>2</sup>	本年実績	前年差	計画差
売上高	613.5	610.0	605.3	-8.3	-4.7
売上総利益	381.7	382.5	378.1	-3.6	-4.4
販管費	351.2	355.5	350.9	-0.3	-4.6
営業利益	30.5	27.0	27.2	-3.3	+0.2
経常利益	31.8	28.0	28.3	-3.6	+0.3
当期純利益	27.9	40.0	40.1	+12.2	+0.1

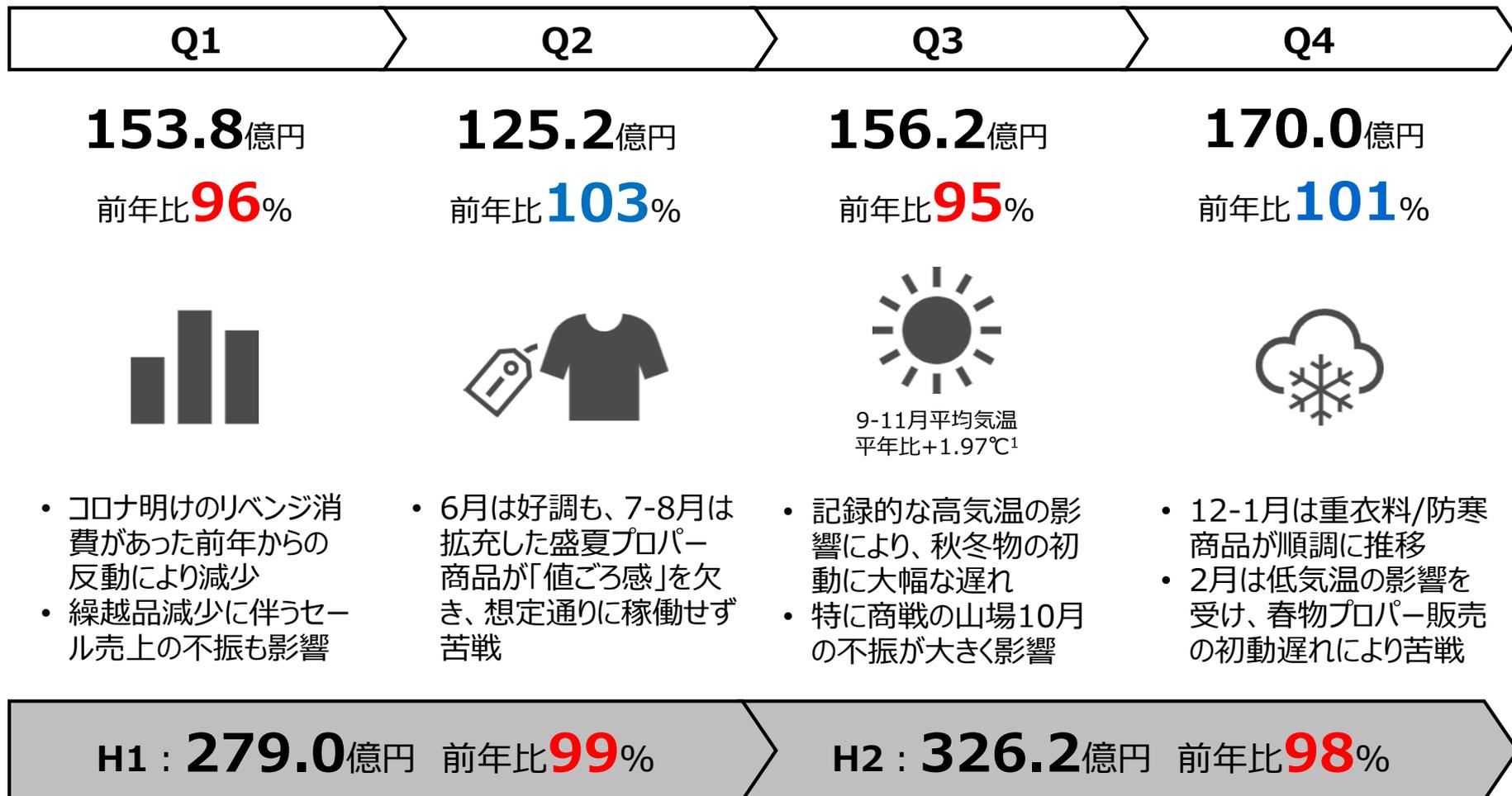
# 連結PL : KPI<sup>1</sup>

売上総利益率は計画に対して0.2pt下回るも、前年差では0.3pt改善  
営業利益率は計画を達成し4.5%、ROEは計画通りに着地

	前年実績	本年計画 <sup>2</sup>	本年実績	前年差	計画差
売上総利益率	62.2%	62.7%	62.5%	+0.3pt	-0.2pt
販管費率	57.2%	58.3%	58.0%	+0.7pt	-0.3pt
営業利益率	5.0%	4.4%	4.5%	-0.5pt	+0.1pt
経常利益率	5.2%	4.6%	4.7%	-0.5pt	+0.1pt
当期純利益率	4.5%	6.6%	6.6%	+2.1pt	+0.1pt
ROE	7.2%	9.9%	10.0%	+2.8pt	0pt

# 四半期別の売上高推移

Q3は記録的な高気温の影響により、秋冬物の初動に大幅な遅れが生じ、前年比95%  
 Q4は12-1月好調も、2月は低気温の影響で春物プロパー販売が苦戦し、前年比101%



## 連結BS

## 資本政策により前年同月比で自己資本は19.6億円減少、総資産は17.4億円減少

(単位:百万円)	2024/2/29	2025/2/28	増減
現金・預金	23,283	23,714	431
売掛金	3,311	3,419	107
商品・製品	7,298	9,070	1,771
有形固定資産	8,598	8,679	80
無形固定資産	3,108	2,752	-355
その他の資産 <sup>1</sup>	13,160	9,383	-3,777
<b>資産合計</b>	<b>58,758</b>	<b>57,017</b>	<b>-1,740</b>
買掛債務	4,435	5,382	947
借入金	6,800	6,930	130
その他の負債	6,264	5,403	-861
<b>負債合計</b>	<b>17,499</b>	<b>17,715</b>	<b>216</b>
資本金	15,002	15,002	-
株主資本合計	34,097	34,306	208
その他の包括利益等 <sup>2</sup>	7,161	4,995	-2,166
<b>純資産合計</b>	<b>41,258</b>	<b>39,301</b>	<b>-1,956</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>58,758</b>	<b>57,017</b>	<b>-1,740</b>
参考) 自己資本	41,242	39,283	-1,959

## 現金・預金+4.3億円

- 営業キャッシュフロー黒字、投資有価証券売却による増加
- 自己株式取得、株主配当等による減少

## 商品・製品+17.7億円

- 在庫ポジション正常化に伴い、翌期・当期品を積み増し、シーズン立ち上がり商材を確保

## その他の資産-37.8億円

- 投資有価証券売却により減少

## 買掛債務+9.5億円

- 期末の在庫積み増しにより増加

## その他の負債-8.6億円

- 繰延税金負債が減少

## 純資産-19.6億円

- 株主資本が2.1億円増加
  - 投資有価証券売却による利益剰余金増加と自己株式取得による減少
- その他の包括利益累計額が21.7億円減少
  - 投資有価証券売却によりその他有価証券評価差額金が減少

1. 2025年2月期 業績結果

2. 2025年2月期 振り返り



MACKINTOSH  
LONDON



# 重点施策の進捗状況と評価

## 重点施策

## 進捗状況と評価

### 売上高の確保



**前年比99%、前年差8.3億円の減少、計画<sup>1</sup>に対しては4.7億円未達**

- Q1はコロナ明けのリベンジ消費があった前年からの反動により減少。繰越品減少に伴いセール売上不振も影響し、前年比96%
- Q3は記録的な高気温の影響により、秋冬物の初動に大幅な遅れが発生。特に商戦の山場10月の不振が大きく影響し、前年比95%
- Q2/Q4は前年超えもプロパー商材が想定通りに稼働せず、Q1/Q3の不振を補うには至らず

### 粗利率の改善



**粗利率は62.5%と前年差0.3pt改善、計画<sup>1</sup>に対しては0.2pt下振れ**

- プロパー販売比率は前年より1.6pt低下し通期64%（上半期67%、下半期62%）
  - 上期は前年ほぼ横ばいを維持（-0.4pt）
  - 下期は期末の在庫圧縮施策によりセール販売比率が上昇し、プロパー販売比率は低下（-2.7pt）
- 生産倍率の改善とセール販売値引幅の圧縮により、平均売価は通期で3%上昇
  - 結果として円安/資源価格上昇による原価上昇を吸収し、原価率は前年より0.3pt改善
- EC/アウトレット専用商品の増加

# 重点施策の進捗状況と評価

## 重点施策

## 進捗状況と評価

事業構造改革	<b>販管費のコントロール</b> 	 <p><b>計画<sup>1</sup>通りにコントロール</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年差0.3億円減少。売上連動による販売手数料3.7億円減少を除く実質前年差は3.3億円の増加、計画を2.3億円下回る</li> </ul>
	<b>インベントリーコントロール</b> 	 <p><b>期末製品在庫<sup>2</sup>は前年同月差16.3億円増加の80.2億円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当期品及び翌期品は前年同月比128%、当期・翌期品比率84%（前期末差+2pt）と内容は改善基調を継続</li> <li>繰越品は前年同月差1.7億円増加の13.2億円。期中消化、在庫抑制方針を継続しつつ、前期不足していたシーズン立ち上がり商材を確保</li> </ul>
	<b>財務改革</b> 	 <p><b>自己資本比率68.9%（前年同月差-1.3pt） 負債資本倍率（DER）0.18倍</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>純資産：前年同月末412億円から393億円</li> <li>総資産：前年同月末587億円から570億円</li> <li>有利子負債：前年同月末68億円から69億円</li> <li>キャッシュポジション：前年同月末232億円から237億円に増加</li> </ul>

## 参考) チャネル別売上実績

実店舗<sup>1</sup>は前年比98%と苦戦。特に百貨店は館自体の閉店/改装に伴う売場数減少を受け前年比98%。EC及びアウトレットはセール販売が伸長し、両者とも前年比101%

### 売上実績(単位:百万円)

	Q1	Q2	H1	Q3	Q4	H2	FY	構成比
百貨店	10,298	7,962	18,260	10,452	10,397	20,849	39,109	64.6%
直営店	892	756	1,648	921	983	1,905	3,553	5.9%
EC・通販	1,737	1,901	3,638	1,855	2,713	4,568	8,205	13.6%
アウトレット	1,713	1,561	3,273	1,770	2,237	4,007	7,280	12.0%
その他	738	344	1,083	625	671	1,295	2,378	3.9%
総計	15,378	12,524	27,902	15,623	17,001	32,624	60,526	100.0%

### 前年比

	Q1	Q2	H1	Q3	Q4	H2	FY
百貨店	98%	101%	99%	95%	98%	97%	98%
直営店	97%	97%	97%	97%	95%	96%	97%
EC・通販	90%	108%	98%	99%	107%	104%	101%
アウトレット	100%	105%	102%	93%	108%	101%	101%
その他	83%	114%	91%	80%	132%	101%	96%
総計	96%	103%	99%	95%	101%	98%	99%

## 参考) 販管費実績の内訳

前期差で0.3億円減少。売上連動の販売手数料減少を加味した実質前期差は+3.3億円  
固定性経費の抑制継続、売上拡大に資する店舗/システム/宣伝販促/人材投資を強化

単位:百万円	2024/2月期	2025/2月期	前期差
販売費	24,360	23,988	-372
社員人件費	4,365	4,473	108
宣伝販促費	1,691	1,768	77
設備費	1,243	1,367	125
物流費	1,312	1,342	30
管理費	2,153	2,154	1
販管費計	35,123	35,092	-31
販売手数料	13,818	13,451	-367
販売手数料除く販管費	21,305	21,641	336

売上連動の販売手数料3.7億円減少を加味した実質前期差は+3.3億円

販売費のうちのFA経費は+1.0億円

- FAに対するベア実施

社員人件費+1.1億円

- ベア実施

宣伝販促費+0.8億円

- 雑誌/新聞等への出稿強化

設備費+1.2億円

- 新規出店、売場環境の改善
- ECプラットフォームの刷新

## 免責事項

本資料は、株式会社三陽商会及び関係会社の財務情報・経営情報等の提供を目的としており、如何なる表明・保証を行うものではなく、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う場合は、本資料の掲載内容に依拠した判断はお控え頂き、ご自身の判断により行って戴けますようお願い致します。

本資料掲載の情報は過去の事実以外に当社の将来の見通しを含み、諸処の社会的事情や経済的事情により変動する可能性があります。本資料の情報を使用されたことにより生じる如何なる損害についても当社が責任を負うものではありません。

本資料に掲載された将来の見通しについて、新たな情報や将来の事象に起因し修正し公表する義務を負いません。

本資料においては、当社が証券取引所などに開示している情報を全ては含んでおらず、開示内容と異なる表現を採用している場合があります。掲載内容を予告無しに削除又は変更する場合があります。

本資料の掲載内容には細心の注意を払っておりますが、掲載内容に誤りが生じた場合や第三者によるデータの改竄、データダウンロードなどによって生じる障害などについて、当社は理由を問わず一切の責任を負いません。

**TIMELESS WORK.**

ほんとうにいいものをつくろう。

**SANYO**